

OIC 大阪いばらきキャンパス(OIC)の魅力

立命館大学大阪いばらきキャンパス(OIC)は、6学部・7研究科が集結する学際的・次世代型キャンパスです。文系・理系にまたがる学部横断の学びや研究が自然に生まれる環境。塀のないキャンパス設計によって日常的に地域の方が訪れるキャンパスでもあり、「いばらき×立命館DAY」「Ritsumeikan Global Week」など地域に開かれたイベントも毎年開催されています。2024年には最先端の教育設備を備えた新棟(H棟)が完成し、大学と

社会をつなぐ共創プラットフォーム「TRY FIELD」が始動。立命館学園すべての児童・生徒・学生、教職員が、共創する企業や自治体と共に、自由に挑戦を繰り返しながら、新たなイノベーションや地域価値を創造する場として機能しています。蔵書数約25万冊のOICライブラリー、共同学習施設「びあら」など恵まれた学習環境があるほか、100円朝食など学生生活を支援する制度も充実しています。



立命館大学寮の100円朝食



「いばらき×立命館DAY」



共同学習施設(びあら)



SP LAB X

入試情報は「入試情報サイト」をチェック!!

立命館大学 入試情報サイト
<https://admission.ritsumeai.ac.jp/>

必要な情報が
すぐ見つかる
サイトに
リニューアル!

入試情報・
入試イベントの
詳細を随時
公開しています

① 入試最新情報
立命館大学の入学試験に関する重要なお知らせや最新の情報をお伝えします。

② 入試イベント
大学紹介や入試対策講座など、立命館大学が全国で実施する入試イベントを目的別に探すことができます。

③ 資料請求・願書請求
大学案内、入試ガイドなどの資料請求ができます。



ACCESS アクセス



大阪いばらきキャンパスへの交通機関

京都方面から

JR 南草津駅	新快速 約20分	JR 京都駅	新快速 約12分	JR 高槻駅	快速 約5分	JR 茨木駅	徒歩 約5分
阪急 河原町駅	特急 約25分	阪急 茨木市駅	準急 約2分	阪急 南茨木駅	徒歩 約10分		

大阪方面から

阪急 梅田駅	準急 約18分	阪急 南茨木駅	徒歩 約10分
JR 大阪駅	快速 約14分	JR 茨木駅	徒歩 約5分

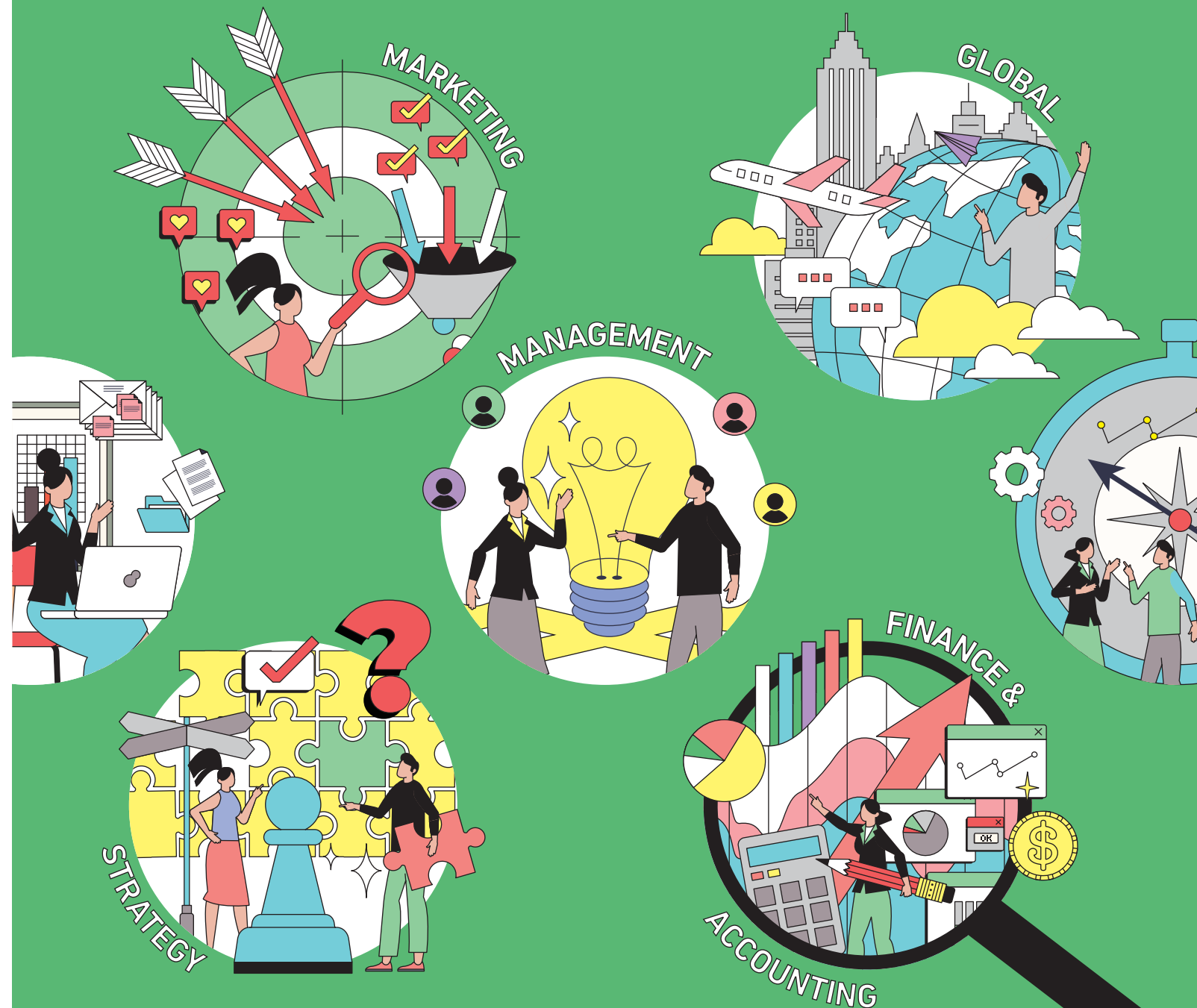
空港から

モノレール 大阪空港駅	快速 約21分	モノレール 南茨木駅	徒歩 約10分
-------------	---------	------------	---------

※所要時間には乗り換え時間を含みません。

経営学部

College of Business Administration
Ritsumeikan University



ビジネスを発見し、
ビジネスを創造する経営学

ビジネスを発見し、ビジネスを創造する経営学

経営学部は、ビジネスの視点からみた社会的課題を発見し、創造的な問題解決を目指す経営学の研究と教育を進めてきました。とくに今日は、グローバルな視野をもったビジネスの創造や、SDGs（持続可能な開発目標）に取り組むソーシャルビジネスも重視しています。

経営学部は、経営学を主要な専門分野に細分化した4つのコースから進路目標に合わせて専門性を高める「経営学科」と、国際的な視野からビジネスを学ぶ「国際経営学科」を設けています。

経営学部で育成する人物像



ごあいさつ

立命館大学経営学部は、1962年の創設以来、研究教育および社会貢献の最前線において、常に時代を切り拓いてきました。「ビジネスを発見し、ビジネスを創造する」との理念のもと、幅広い教養、外国語、高度な経営学の専門知を身につけるだけでなく、実践的な知を自ら創り出すことによって「人生を切り拓く修養の場」として歴史を重ねてきました。

経営学は「なぜ、この会社の経営はうまくいくのか?」「どうすればもっとうまくいくのか?」との問いを探る学問です。この問いが、各分野の具体的な問い、たとえばマーケティングなら「なぜお客様は価値を感じるのか?」、組織論なら「なぜこのリーダーはチームをまとめられるのか?」に分かれていくのです。そして、経営学は唯一「正解がない」学問でもあります。問いの前提が環境の変化でめまぐるしく移り変わるからです。

あなたが大好きなことは何ですか? 経営学は、社会のさまざまな営みにアプローチできる学問。あなたの「好き」から、社会を良くすることもできます。好きなことを好きだけでできるこの大学で、自分の可能性を思い切り広げてください。



経営学部長
依田 祐一 教授

INTERVIEW

濃密なディスカッションを通して経営学を深く学ぼう

立命館大学経営学部の特徴は、1回生の「基礎演習」から始まる小集団科目が充実していて、担当教員や学生との濃密なディスカッションを通して経営学を深く学べる点にあると思います。もう1つの特徴が、高度な専門性を身につける4つのインテンシブプログラムです。私が主に担当する産官学連携事業継承教育プログラムでは、中小企業の事業継承に着目しています。中小企業を学ぶことは、戦略、マーケティング、マネジメントなど会社全体の理解につながるものです。企業訪問や経営者などへのインタビューなど、中小企業の経営を実践的に学ぶ機会も用意しています。企業などの経営組織は、目まぐるしく変化する社会の変化に対応して存続・発展するため、経営学の専門知識や、それを活用した問題解決能力はますます必要とされるでしょう。経営学部でぜひ一緒に学びましょう。

PROFILE 慶應義塾大学商学部卒業。政府系金融機関での勤務と並行して東京都立大学社会学部研究科経営学専攻修士課程修了。横浜国立大学 環境情報学部環境イノベーション・マネジメント専攻博士後期課程単位取得満期退学、島根県立大学総合政策学部教授、地域政策学部教授を経て2023年より現職。研究対象は中小企業の「継承」と「革新」。



経営学科
久保田 典男 教授
〈研究分野〉中小企業論

徹底した小集団教育。 分野ごとに特色あるゼミナールで仲間と学びあう。

さらに詳しい
内容は、
ホームページを
チェック！



経営学科

組織コース



東 健太郎 教授ゼミ
企業の社会環境報告

社会や環境の問題にかかわり、企業は、どのように説明責任を果たし、またどのようにこの問題を「利用」しているでしょうか。学生時代は、自由な角度から物事をとらえて議論できる貴重な時期です。SDGsなど、サステナビリティが隆盛である現在こそ、問題意識を持ち続ける必要があるでしょう。ゼミの時間は対話を重視しながら、他大学とのインゼミなども実施し、議論を深めています。



戦略コース



土橋 力也 教授ゼミ
プラットフォーム企業の競争戦略

Amazonやメルカリなど、異なる2つ以上のユーザーグループを結びつけて価値を生み出すのがプラットフォーム企業です。身近なサービスがどのような戦略のもとで運営され、その戦略がライバル企業との競争にどう影響しているのか、私たちの生活にどんな影響を与えているのかを分析することで、経営理論をより実践的に理解することを目指します。ゼミの仲間と意見をすり合わせ、衝突しながら、論文作成という目標に向かって楽しさや難しさも学んでください。



マーケティングコース



今井 まりな 准教授ゼミ
新製品開発に関する研究と実践

新製品開発は極めて重要であると同時にマネジメントの難しい活動の一つです。顧客自身も明確に認識していない潜在的ニーズの把握は難しく、また、仮にニーズを把握しても、それに十分応える製品の開発へと至るには数多くの関門があります。ゼミは新製品開発についてマーケティングの視点から研究するとともに、インターゼミに参加し、手、足、頭を動かして新製品企画の実践も行います。



会計・ファイナンスコース



小林 磨美 教授ゼミ
企業統治と企業金融

国内外で経営環境が大きく変化の中で、望ましい企業経営の在り方が模索されています。専門演習では企業統治をテーマにして、企業をめぐるさまざまな利害関係をどのような制度や仕組みをもって調整するのが望ましいかを考えます。企業の内部組織の在り方や金融取引の仕組みなど、さまざまな角度から統治の在り方を議論します。企業統治をめぐる身近な問題や疑問を学習した知識を用いて分析し、その結果を人にわかりやすく論理的に説明する能力を身につけることを本ゼミの目標としています。



国際経営学科

国際経営学科



ラウパッハ
スミヤ ヨーク 教授ゼミ
How business can save the planet ?

Climate change is endangering our civilization. As a major source of greenhouse gas emissions business is under pressure to adopt zero emission strategies. At the same time, business is expected to develop the required technologies, products and services. In my seminar, we discuss practices of sustainable strategic management to fight climate change.



経営学の理論と実践をバランスよく学べるカリキュラム

1回生から4回生まで経営学の学びを段階的に進めていくとともに、学生が将来の目標を見据えて人間的にも大きく成長していける充実した4年間の学びカリキュラムを設けています。国内・海外で実践的にビジネスを学ぶ機会もあり、理論と実践をバランスよく学ぶことができます。

		3回生進級時にゼミナールとコースを選択（コース選択は経営学科生のみ）			
経営学部	経営学科・国際経営学科共通	1回生	2回生	3回生	4回生
		学部共通専門科目 簿記入門Ⅰ・Ⅱ 基礎統計 経営のための数学Ⅰ・Ⅱ 情報処理演習 BSAⅠ(留学) データサイエンス演習基礎			
		インテンシブプログラム（アジアビジネスプログラム、創発系デジタル人材育成プログラム、会計キャリアプログラム、産官学連携事業継承教育プログラム）			
		総合基礎科目 企業と経営 企業と会計 マーケティング論 経済学入門	経営学科	戦略	経営戦略論 経営統計論 技術経営論 アントレプレナーシップ(E)
				情報処理 英文簿記Ⅰ・Ⅱ 民法Ⅰ・Ⅱ BSAⅡ・Ⅲ・Ⅳ(留学)	日本経済論 ミクロ経済学 マクロ経済学

・学部の専門科目とは質的に異なる、幅広い分野の知識の修得を目指す科目を多数履修することができます。

外国語の選択	〈国際経営学科〉英語コース：〔必修〕英語／2言語英語重視コース、2言語初修重視コース：〔必修〕英語 〔必修〕下記初修外国語から1言語 〈経営学科〉英語コース：〔必修〕英語／2言語コース：〔必修〕英語 〔必修〕下記初修外国語から1言語 〔初修外国語〕ドイツ語／フランス語／スペイン語／中国語／朝鮮語
教養科目	立命館科目、A群（教養基盤科目〔思想と人間、現代と文化、芸術と創造、社会・経済と統治、世界の史的構成、自然・科学と人類、数理と情報の7分野〕） B群（国際教養科目〔外国語で講義〕）、C群（社会で学ぶ自己形成科目）、D群（スポーツ・健康科目）、E群（学際総合科目〔演習形式など〕）

小集団科目 大学生活において、ともに学ぶ仲間の存在はとても重要です。1回生時から始まる小集団教育科目は、少人数クラスでグループワークやディスカッションなどに取り組みながら主体的に学ぶ力を鍛えるとともに、支えあい高めあえる仲間づくりの場にもなっています。

1回生	2回生	3回生	4回生
基礎演習・プロジェクト研究 大学での学び方の基礎を固める。 基礎演習では、文献や資料収集・整理、分析、そしてプレゼンテーションするための基本的な知識を修得。プロジェクト研究では、テーマに対する問題提起とその解決に挑む力を育みます。	プレゼミ 自ら率先して課題を発見し解決策を考える力を磨く。 テーマに対して小集団で学び、3回生以降の専門演習での学びにつなげます。	専門演習Ⅰ・Ⅱ 経営学の専門知識を活かしより現代的な課題に挑戦。 専門演習(ゼミナール)ごとに設けられるテーマに沿って文献研究や現地調査などを実践。基礎演習で身につけた学習方法を土台として、学生同士が議論を重ねるなかで経営学の理論と知識を深めます。	専門演習Ⅲ・Ⅳ 卒業論文又はビジネスレポート 専門演習での学びをカタチにする。 学びの成果を「卒業論文」又は「ビジネスレポート」としてまとめます。大学で習得した知識と経験が凝縮される学びの集大成となるので、学生が自分自身の成長を実感できるものとなるでしょう。

学びのステップ

学びを知る 大学での学び方を学びます。経営学の基礎的な科目を履修し、基本的な知識や考え方を身につけます。	学びを広げる 各学科・コースの基礎的な専門科目を中心に履修。インテンシブプログラムや留学プログラムなども履修可能です。各自の興味・関心にもとづき多様な学びに挑戦します。	学びを深める 各学科・コースの発展的な専門科目の履修がスタート。各自の興味・関心のあるテーマを追究し、学びを理論と実践の両面から深めていきます。	学びをまとめる 各自の興味・関心に沿ってさらなる専門性を身につけます。また、ゼミナールでの学びのテーマを絞り、4年間の学びの集大成として「卒業論文」又は「ビジネスレポート」を作成します。
---	---	---	--

さらに詳しい内容は、
ホームページを
チェック！



PICK UP 基礎演習(1回生)

大学生生活を自分でマネジメントする基礎を身につける。

高校までとは異なる大学での学び方と研究の基礎を、少人数クラスのグループワークやディスカッションを通して身につけます。興味のあるテーマについて、まずは個人で調べ、次に仲間と情報を共有し、研究に必要な学術的な視点を磨いていくといった「点」から「面」へと研究を形作っていくプロセスを体験します。学びを通した仲間づくりも重視し、4年間の大学生生活を各自がマネジメントできるようサポートします。



経営学科 林 永周 教授
〈研究分野〉アントレプレナーシップ



PICK UP プロジェクト研究(1回生秋学期～)

アジアの経済発展・ビジネスの課題発見・分析力を鍛える。
(Challenges in Asian Economic Growth and Business)

経済発展に付随する課題(ジェンダーや教育、貧困・格差問題等)やアジアへの進出企業を取り上げ、文献やデータを用いて分析します。特に今年は、企業研究としてイオンインドネシア社様にご協力いただき、現地の小売ビジネスの最新線情報を共有いただき実践的な学習も行っています。世界各地の多彩な留学生と日本の学生が学年を越えて共同で取り組みます。留学前後の学びとしても位置づけ、授業は全て英語で行い、自らが関心を持った課題に挑戦することを主眼としています。



国際経営学科 宮田 幸子 教授
〈研究分野〉開発経済学



PICK UP プレゼミ(2回生)

社史づくりを通して
企業・産業の継承について考える。

企業の社史をつくるプロセスから、企業・産業の継承を考えます。社史づくりには、経営理念、企業の強み・弱み、売上、組織・人事、情報技術の活用状況などの調査、外部環境との関係もふまえた時系列での情報整理が必要です。百戦錬磨の経営者・後継経営者へ複数回の聞き取りを行うことで、複雑な事実をシンプルに整理する力が身につくと共に、解決の難しい複雑な課題の存在にも気づくでしょう。企業の課題解決法を探る力も身につけてください。



経営学科 植田 展大 教授
〈研究分野〉
経済史・経営史・地域経済



PICK UP 専門演習(3回生～)

マーケティングの視点から
商品への企画提案も行う。

マーケティングを学ぶ面白さは、実践を理解するためのフレームによって、見えないものが見えるようになることだと思います。単なる点の集まりである夜空の星が、星座というフレームを手に入れた途端、つながりや意味が見えるようになるのと同じです。実際の商品に関する課題に関して、マーケティングの視点から企業へ企画提案を行うコンペなどの実践的な学びを通して、自分なりのフレームを身につけてほしいと思います。



経営学科 日高 優一郎 教授
〈研究分野〉マーケティング論

専門性を磨き、ビジネスのスペシャリストへ！

経営学科



さらに詳しい内容は、
ホームページを
チェック！

組織コース

企業や非営利組織の形態や歴史、組織の経営管理や仕組みを理解します。リーダーシップや人材育成、中小企業や事業継承、企業倫理や環境経営など多様な学びもこのコースの特徴です。

基礎科目

PICK UP 企業論

「企業とは何か」に
多方面から切り込む。



アドバンストな授業

PICK UP 組織行動論

「多様な個人」から構成される
組織について学ぶ。

企業を理解する際、その組織に注目することが重要です。組織は建物や機械ではなく、様々な性格や意思を持つ多様な個人によって構成されます。そのため企業を理解する際は、所属する個人や複数の個人が織りなす相互作用に注目することが重要です。本講義では組織に所属する個人の態度、集団での活動、リーダーシップなどに関する基本的な理論や概念の理解を通じて組織の理解を深めます。



経営学科
谷川 智彦 准教授

〈研究分野〉
職場における
ダイバーシティと成果との
関係性に関する実証研究

PICK UP 経営史

現代企業の成り立ちを
プロセスから考える。

経営史ではプロセス(過程)を重視し、歴史の流れのなかで、現代企業の多角化や垂直統合といった特質を学んでいきます。長期間を対象にするため、すぐに答えが知りたい学生にとっては少しじれったいと感じるかもしれませんが、過去に起きたことに影響を受けながら現代が成立している以上、ファクト(事実)の積み重ねからの学びは現代企業への理解をより深めるものになるでしょう。



経営学科
植田 展大 教授

〈研究分野〉
経営史、経済史、
農業・漁業による
地域活性化

戦略コース

企業が目標を達成するための経営戦略と、そのための手段や方法を理解します。製品の開発・生産にかかわる技術経営や、事業創造にかかわるアントレプレナーシップ、情報システムや経営統計についての学びもこのコースの特徴です。

基礎科目

PICK UP 経営戦略論

企業の必携アイテムである
「地図」としての経営戦略を学ぶ。



アドバンストな授業

PICK UP アントレプレナーシップ論

新しい価値を創造し、
社会に創出するための能力を学ぶ。

アントレプレナーシップを、起業家精神と解釈される研究者やマスメディア関係者が多く中で、アメリカの大学での研究成果「新しい価値を創造し、社会に創出するための能力」に基づいて、単にベンチャー企業の創業を目指すだけでなく、既存の企業においても力を発揮できる知識と能力を学んでいきます。



経営学科
黒木 正樹 教授

〈研究分野〉
起業家(アントレプレナーシップ)
教育、
ベンチャー企業の人材育成

PICK UP オペレーションズ・リサーチ

数理的思考による
意思決定プロセスを身につける。

ビジネスの世界では様々な意思決定が行われます。人は無意識的にも、複雑な問題を単純化させて考えた上で決断を下そうとしますが、このような問題解決のプロセスに関する数理的アプローチについて学ぶのがこの授業の特徴です。データ分析の結果にもとづく適切な意思決定が求められる昨今のビジネス環境において、この授業で学ぶような数理的思考の必要性は高まっています。



経営学科
佐野 宏樹 教授

〈研究分野〉
オペレーションズ・
マネジメント、
サービス・マネジメント

マーケティングコース

企業経営において顧客ニーズを正しくつかみ、価値ある商品を創造するための「マーケティング」を体系的に学びます。また、最近注目される「観光・サービス」「デザイン・マネジメント」を学ぶことができるのも、このコースの大きな特徴です。

基礎科目

PICK UP デザイン マネジメント論

マーケティング課題を
解決するための情報の収集と
分析技法を学ぶ。



アドバンストな授業

PICK UP 消費者行動論

マーケティングの成功の鍵となる
消費者の心理と行動を理解する。

「どうしてこの商品を買ったのだろうか?」、「なぜこのブランドが好きなのだろうか?」―消費者の心理や行動に関する素朴な疑問にさえ、きちんと答えるのは難しいかもしれませんが、でも、消費者の気持ちや振る舞いが分からなければ、企業は、消費者に自社の商品やサービスを買ってもらうことはできません。消費者行動論を学べば、そうした疑問に対する解答を見出すことができ、マーケティングに役立つ知識を得ることができます。



経営学科
菊盛 真衣 准教授

〈研究分野〉
消費行動に対する
eクチコミの影響、
クチコミ・キャンペーンの
報酬の効果

PICK UP デザイン戦略論

一人一人の主観が活きる
経営のあり方を考える。

デザイン戦略論は、デザイン経営を個人の主観のマネジメントと定義し、一人一人の主観をイノベーションに結びつけるための開発プロセスやそのプロセスの中での組織内でのコミュニケーションとユーザーとのコミュニケーションなど、デザインを組織内で戦略的に実践するために必要な哲学的知識から実践的知識まで取り扱います。創造性を発揮する鍵である個人の主観のマネジメント戦略を共に学びましょう。



経営学科
後藤 智 教授

〈研究分野〉
デザインマネジメント、
サイバーフィジカルシステム

会計・ファイナンスコース

企業を取り巻く資金の流れとその仕組みを理解します。利害関係をもつ企業外部との取引や企業内部の管理運営、さらには金融市場と金融制度についての理解を深めます。企業に関するビッグデータの分析や経済学に基づいたモデル分析を用いた学びもこのコースの特徴です。

基礎科目

PICK UP 会計学

会計情報を使って
企業の中を見る。



アドバンストな授業

PICK UP 原価計算論

原価の発生メカニズムを
理解することで、企業経営を考える。

原価は、企業の利益計算や将来計画の策定に不可欠な情報です。情報技術が発展した現代では、短時間で複雑かつ高度な計算をすることが可能になってきました。原価計算も全くの例外ではありません。しかし、計算された原価が歪んでいたり、原価発生メカニズムを正しく理解していなければ、企業経営を誤った方向へ導いてしまう恐れがあります。この授業では、原価の計算プロセスと原価計算の実践的な役立ちを学んでいきます。



経営学科
大浦 啓輔 教授

〈研究分野〉
組織間マネジメントに
おける管理会計の研究

PICK UP コーポレートファイナンス

経営者の投資判断を
資本コストの面から“採点”する。

コーポレートファイナンスは、株価を高める投資判断を考える学問です。中心テーマは「資本コスト」。たとえば国債で年3%の無リスクリターンが得られ、投資家をリスクの高い株式に向かわせるには8%が必要であれば、この8%は経営者にとっての資本コスト(最低収益率)となります。授業を通じて、経営者の判断を資本コストの面から“採点”する力を身につければ、長期的な資産形成にもつながります。



経営学科
範 鵬達 准教授

〈研究分野〉
コーポレートファイナンス

留学を経験し、国際ビジネスの現場に触れ、英語で国際経営を学ぶ

国際経営学科

グローバルビジネスを理解するために高度な外国語運用能力と国際理解力、経営学の専門知識を修得。グローバル化がますます進展するこれからの社会において、国際ビジネスを自ら生み出す力を磨きます。海外留学や海外インターンシップなどの機会も豊富です。

さらに詳しい内容は、
ホームページを
チェック！



1回生では「英語の4技能」と「国際教養」、2回生では「アカデミック英語」および専門分野の「ビジネス英語」を学びます。3回生では「プロジェクト英語」でポスター発表やプレゼンテーションを行い、英語発信能力を高めます。

※希望者は英語に加えてドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、朝鮮語を学ぶこともできます。



外国語



経営学



海外留学

経営学部独自のプログラムや全学対象の留学プログラムに参加することで、グローバルビジネスで活躍できる異文化理解力や高度な外国語コミュニケーション能力、および国際経営の専門知識を修得し、国境を越えてビジネスを創造する力を磨きます。

「英語で国際的な経営を学ぶ」というコンセプトで、広い視野と多様なものの見方を養います。特定の領域に限定せずに国際的な経営の理解に必要な知識とスキルが取得できる幅広い教育内容を提供します。



PICK UP Introduction to Strategic Management

国際戦略経営の成功に必要な知識
マインドセット、スキルを学ぶ。

国際戦略経営の基本的な概念を理解し、身につけるための授業です。グローバル企業が直面する戦略的な意思決定に重点を置き、PESTLE分析、市場参入戦略、ポジショニング、戦略的提携の検討、人材マネジメントの課題、サプライチェーン管理の意思決定などを取り上げます。ケーススタディやケースディスカッションを通じて国際戦略経営の理論的背景を理解することに加え、国際戦略経営で成功するために必要な知識、マインドセット、具体的なスキルを学びます。単なる理論やフレームワークだけでなく、国際ビジネスを考える上で不可欠なマクロ環境についても理解を深め、実践に活かせる主要なツールや分析フレームワークについても学びます。



国際経営学科
ファゼカシュ
パラージュ 准教授

〈研究分野〉
国際経営、経営戦略論、
組織間ネットワーク

PICK UP 国際経営学科の英語教育

国際経営学科では、世界で活躍できる英語コミュニケーション能力を持つ人材育成を目標に掲げています。

- 2回生以降、履修条件を満たした学生に提供される選択英語では、英語力をさらに高めるために、アカデミックリーディング&ライティング、ディスカッション&ディベート、ニュース英語、異文化コミュニケーション、映画を通して楽しく学ぶメディア英語も履修できます。
- 留学や就職の目標達成のために、全員がTOEFL® IPTやTOEIC® L&Rテストを受けます。英語資格試験受験により動機づけを高めて、4年間で英語力を大幅に伸ばします。さらに、最上位クラスのTOEIC® S&W (スピーキング&ライティング)テスト結果は、企業「海外部門」平均点を上回っており、海外で活躍するに足る高度な英語コミュニケーション能力を培っています。



経営学部英語教育スタッフ

知識と経験を実践的に磨く インテンシブプログラム

高度な専門性を備え、グローバルに活躍できる人材を育成する特別教育プログラムです。各学科・各コースの学びにプラスαの専門性とスキルで将来の活躍の可能性が広がります。

中小企業経営者を目指す！ / 産官学連携事業継承教育プログラム

大阪府中小企業家同友会と連携した講義と事業継承塾と連動した科目によるユニークなプログラム

本プログラムは、将来、家業を継承し発展を展望する事業継承予定の学生や、中小企業の事業継承・M&Aに関心ある学生を対象に、日本のみならずアジア・世界経済を支える経営者、あるいはそうした企業経営をサポートする諸機関(地域金融機関、地域産業政策を立案する自治体、中小企業支援機関など)で活躍できる人材の育成を目的としています。立命館大学経営学部が「事業継承者育成」を共同で行う協定を結んでいる大阪府中小企業家同友会の会員企業経営者による講義科目や、「立命館大学事業継承塾」が実施している中小企業経営課題解決コンテスト、社史コンテストなどの活動と連動した科目を履修することで、産官学連携事業継承教育プログラムの履修認定を行っています。

時期	科目	
2回生 春学期	プログラム特殊講義「事業継承経営：大阪府中小企業家同友会寄附講座」 プログラム特殊講義「事業継承概論」	立命館大学 事業継承塾 中小企業経営課題 解決コンテスト 自分史コンテスト 社史コンテスト
2回生 秋学期	プロジェクト研究(産学共創型)	
3回生 以上	人的資源管理論、中小企業論、 生産システム論	

海外留学を集大成としたプログラム！ / アジアビジネスプログラム

アジアのビジネスに精通し
新しいビジネスを創造できる人材を育成

本プログラムでは、多様な歴史・文化を背景に発展するアジアのビジネスを学び、将来的にアジアを舞台にビジネスを発見し、創造する人材の育成を目的にしています。プログラム学生は「立命館大学での学び」(アジアの歴史やビジネスに関する授業、アジア圏からの留学生との異文化交流、アジアで活躍するビジネスパーソンとのディスカッションなど)、「アジアでの学び」(留学、テクニカルビジットなど)という2つの「学び」の柱を通じて、アジアビジネスの最前線の理解を深めていきます。

学内での学びと海外での学びのステップ

		立命館大学での学び (講義科目・小集団科目)	海外での学び (海外留学)
1回生	夏期休暇		BSA I 全学留学プログラム
	秋学期	プロジェクト研究 プログラム特殊講義(アジアビジネス) I	
2回生	春学期	アジア経済論、 プログラム特殊講義(アジアビジネス) II	BSA II・IV テクニカル・ビジット (アジア企業訪問) 全学留学プログラム
	夏期休暇		
	秋学期	近代アジア経済史	
3回生	春学期	アジア経営論、専門演習 I	
	夏期休暇		
4回生	秋学期	日中ビジネス論、専門演習 II	
	春学期・秋学期	専門演習 III・IV・卒業論文	



さらに詳しい内容は、
ホームページを
チェック！

日商簿記1級・英文会計を学ぶ！ / 会計キャリアプログラム

会計のプロフェッショナルを目指す系統的学習プログラム

公認会計士や税理士、米国公認会計士(USCPA)などの会計プロフェッショナルを志望する学生、または、コンサルタント会社や大企業の経理・財務部門、IR(金融機関・投資家対象の広報活動)部門に就職し、将来的にCFO(最高財務責任者)へのキャリアパスを目指す学生のためのプログラムです。1回生時間講「簿記入門I」「簿記入門II」を履修済みまたは日商簿記2級レベルの知識を有する学生が対象です。

学びのステップ(例：日商簿記1級プログラム)

ステップ	履修時期	科目	内容
ステップ1 1回生	4～7月	簿記入門 I	日商簿記検定3級レベル
	9～1月	簿記入門 II	日商簿記検定2級レベル

ステップ	履修時期	科目	内容
ステップ2 2回生	4～5月	会計キャリア I	日商簿記検定 1級レベル (工業簿記・原価計算) (商業簿記・会計学)
	6～7月	会計キャリア II	
	8～9月(夏季集中)	会計キャリア III	
	10～11月	会計キャリア IV	

11月中旬 日商簿記1級受験！

日商簿記1級を短期集中で取得するプログラム(日商簿記2級の知識があればステップ1を飛ばして1回生から履修可能)と、外資系企業への就職やUSCPA受験の前提となる英文簿記を学ぶプログラム(「英文簿記I」と「英文簿記II」の2科目構成)で、現代企業のニーズに応じたスキルを習得します。

未来を創発するDX人材へ！ / 創発系デジタル人材育成プログラム

何のためのDX？企業の未来を創発し、
デジタル技術で実現する人材へ。

DXは単なる企業の中のプロセスの改善ではなく、社会や人々を知り、企業が取り組む未来の方向性を決め、新しいビジネスモデルを作り、それに向けて社内の改革を実行することが求められます。さらに、現代は人々の幸せを実現するためには、製品とサービス、データが一体となって価値を生み出すことが不可欠です。新しいビジネスを創発する観点からも、企業の中ではなく、製品とサービス、データを一体的にデザインできる能力を持った起業家が求められています。このプログラムでは、この一連のプロセスとアウトプットとしての製品・サービス・データのデザインを理解し、将来企業を新しい方向に導ける起業家を育成することを目指します。



さらに詳しい内容は、
BSAのホームページを
チェック！



BSA
Business Studies Abroad

目的や学び方に応じて選べる

経営学部の留学プログラム



海外留学と学内での学びを有機的につなぐプログラム

グローバルな視点に立って世界を舞台に活躍するビジネス・リーダーの育成を目標に、海外留学の前後に外国語運用能力や経営学の専門知識を外国語で学ぶための講義を設けています。BSAと連動して学修効果を高めます。



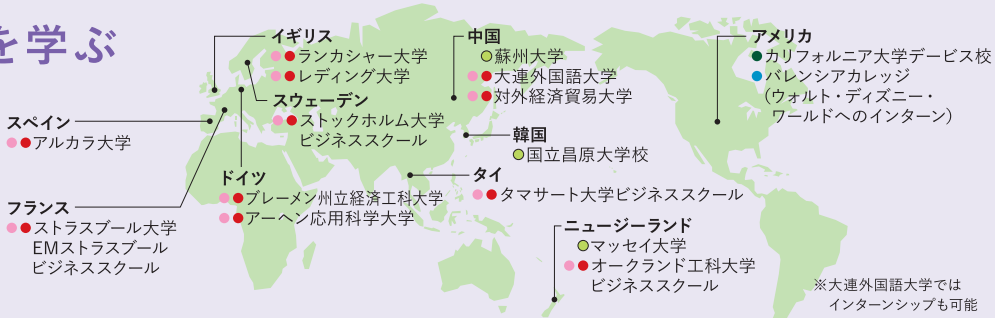
海外で経営学を学ぶ

〈学部独自のプログラム〉

BSA
Business Studies Abroad

国際社会に必要な
ビジネス感覚を
培います。

ビジネスに特化して海外で学ぶ留学プログラムです。外国語のレベルや目的に合わせて選べる4タイプのプランを設けています。短期、長期のプランを組み合わせる複数回留学する学生もいます。



選べる4タイプ

※いずれのプログラムも4年間での卒業が可能です。

●BSA I

(期間:約1ヵ月間)

主に1回生の夏期休暇に実施。海外の大学で語学や基礎的な経営学を学びながら現地企業見学などを行います。

●BSA I plus・BSA II

(期間:約1ヵ月間または1セメスター)

ビジネススクールや経営学部を有する海外の大学で、専門科目を多言語で理解できる能力を磨きます。ビジネスで使える高度なコミュニケーション能力や国際経営の専門知識の修得を目指します。

●BSA III

(期間:約6ヵ月間)

2回生以上が応募可能なアメリカ・フロリダ州のウォルト・ディズニー・ワールドへの長期インターンシップなどがあり、ビジネス感覚と経営学・語学力を培います。現地ではシェアハウスでの生活を通して、多様な学生との共同生活を体験することもできます。

●BSA IV

(期間:約1年～1.5年間)

2回生以降に実施。ビジネススクールや経営学部を有する海外の大学で、経営学に関する専門科目を多言語で受講し、仕事で使える高度なコミュニケーション能力や国際経営の専門知識の修得を目指します。



BSAで スウェーデン へ留学



国際経営学科
来間 愛彩香さん
沖縄県立
普天間高等学校出身

多様な年齢層や人種の学生との交流から
異文化理解と国際経営を見つめ直しました。

国際経営を違う国の視点で学びたいと考え、ストックホルム大学ビジネススクールに留学しました。特に印象に残るのは、映画の評価やディベートなどを通して主体性を持って組織管理を学べたHuman Resource Management(人的資源管理論)の授業でした。文化的背景が異なる学生と交流し、あらゆる視点や言動を理解することができました。自分の意見をしっかりと、伝える力がある学生の中にいることで、私も自信を持って英語で意見を言うことが好きになりました。留学を通して、学んだことが実社会にどう適応されているかを考えられるようになり、自分のコミュニティを多角的な視点から考えるスキルも身につきました。今後は海外の大学院へ進学し、いつか起業するという目標に向け、これからも英語力の向上や経営知識の勉強に励みます。



出会ってすぐの大学の友人たちと
ウプサラ観光



BSAで アメリカ へ留学



経営学科
福井 玲さん
大阪府立
桜塚高等学校出身

夢だったディズニーのキャストになって
英語も伸び、自分の存在価値も見出せた。

幼少時からの夢、ディズニーのキャストとして働ける理想的なプログラムとして「BSAIII」のバレンシアカレッジに留学しました。週5日はディズニーワールドでのインターンに参加。毎日が楽しく充実していて、人生で最も濃い半年間でした。英語も予想以上に伸び、異なる価値観をもつ人々との関わりによって日本人としての殻を破れたように感じます。でも私の留学は、留学前に想像していたことなんかちっぽけだったと感じるほどの圧倒的な楽しさ、リアルな体験でした。自分が心から価値を感じる環境に身を置けば、自然と努力することができ、自分の存在価値を見出せるという感覚も体得しました。「違う言語の人と意思疎通できた瞬間が一番楽しかった」という気持ちを、これからの進路選択や就職活動でも大切にしていきたいと思っています。



退勤後に同僚とパークの近くにあるリゾートホテルへ。オンとオフも充実した日々でした

BSA以外にも、経営学の学びを支える留学プログラム



交換留学で アメリカへ留学



国際経営学科
雀部 颯真さん
京都府・
立命館高等学校出身

●交換留学(カリフォルニア州立大学モンテレイ校／(アメリカ合衆国))
大学史上最年少で米国公認会計士(CPA)試験合格

留学先では、ディスカッション重視の授業によって議論力や論理的思考力も鍛えられました。限られた時間の中で努力を重ね、留学先の大学史上最年少で米国公認会計士(CPA)試験合格も達成できました。課外活動では野球部にに関わり、言語や文化を超えたチームワークを学びました。価値観の違いに戸惑う時もありましたが、多様な価値観を受容できるようになり、困難な状況に柔軟に対応する力も養われました。私の目標の一つはウォール・ストリートで働くことなので、現在、米国CFA協会認定証券アナリスト(CFA)取得にも挑戦中です。目指すのは、変化の激しい時代の中で、周囲から求められる人材であり続けること。どんな環境でも価値を発揮できる人になりたいと考えています。

全学留学プログラム

全学部の学生が留学に挑戦できるプログラムです。世界68ヶ国・地域、463大学・機関と協定を結んでおり、多彩な留学期間・内容で、年間2,000名以上を海外に派遣しています。



さらに詳しくは▶



テクニカル・ビジットで 海外1週間視察



経営学科
伊藤 陽翔さん
群馬県・
太田市立太田高等学校出身

●テクニカル・ビジット(シリコンバレー)
留学での学びを日々の行動の中で実践し続けたい

シリコンバレーで先端技術企業や大学などのイノベーション創出拠点を訪問し、「行動すること自体が学習である」という共通の考え方に衝撃を受けました。準備してから動くのではなく、まず行動し、その結果をもとに修正を重ねていく姿勢が社会に浸透していること、会社や組織の枠を越えて人とつながり、偶発的な出会いから新しい価値が生まれていることが印象的でした。「行動しなければ何も始まらない」との認識が自分の中に根づいたこと、他者とつながる姿勢が自分の可能性を広げると実感できたことも大きな収穫でした。経営学部には多彩な留学プログラムがあり、目的や状況に合った挑戦が可能です。留学での学びを単なる経験とせず、日々の行動の中で実践したいと考えています。

テクニカル・ビジット(シリコンバレー)

シリコンバレーで実施する実践型プログラムです。現地のハイテク企業やベンチャー支援機関を訪問し、起業家による講義を受講します。留学で学んだ理論を実社会で体験することで、アントレプレナーシップへの理解を深め、実践的な思考力と国際的な視点を培います。



さらに詳しくは▶

キャンパスライフがさらに充実！

バラエティ豊かな クラブ・サークル

OIC(大阪いばらきキャンパス)には100前後のクラブ・サークル、
他キャンパス拠点を含めると公認・登録団体だけでも、さらに400以上が存在します。
多くの学生が学部・学科の枠を越えて仲間との交流を深めています。

さらに詳しい内容は、
ホームページをチェック！
SPORTS&CULTURE



仲間と一緒に、未来を創る。
Borderを超えていく。

経営学部自治会オリター団



左から
経営学科 石田 航大さん 熊本県立済々黌高等学校
経営学科 黒田 龍平さん 北海道・立命館慶祥高等学校
経営学科 岸下 晴香さん 福井県立福井商業高等学校
経営学科 木村 優月さん 京都府・立命館高等学校

学生が学生を支える独自の文化。
先輩が新入生の心強い味方になります。

オリター団とは、先輩が後輩を支える立命館大学独自のピア・サポート活動で、私たちは経営学部の新入生を学習と生活の両面から支える活動に取り組んでいます。基礎演習という1回生の少人数授業で学びをサポートする活動や、レクリエーションなどを開いて1回生同士が仲良くなるためのきっかけづくりをする活動など、サポートのあり方はさまざま、オリター同士で意見交換をしながら常に検討と改善をしています。また、オリターになる学生は自分が1回生の時に支えてもらった経験を次の世代に伝えていて、支え合いの精神が伝統としてつながっています。



オリエンテーション新入生歓迎企画での集合写真

体育会ホッケー部



経営学科 堀川 真有里さん 滋賀県立伊吹高校出身
経営学科 佐々木 拓人さん 福井県立丹生高校出身
経営学科 樋口 雄翔さん 京都府立須知高校出身

一人ひとりが迅速かつ確かな判断力を備え、
学生日本一を目指します。

大阪いばらきキャンパスには、国際大会に対応できるホッケーグラウンドがあり、充実した環境で練習に取り組んでいます。
ホッケーの魅力はスピードです。スティックで撃ち抜くボールの速さは時速120kmにもおよび、0.1秒で試合展開が目まぐるしく変わります。試合ではスピーディな判断が求められるため、仲間との密なコミュニケーションを何よりも大切にしています。
最近では2大会連続で男女とも全国優勝するなど、お互い切磋琢磨しながら大学だけでなく社会人チームも含めて日本一の座を守り続け、世界の舞台で戦うことを目標に活動しています。
キャンパス内のグラウンドで行われる大会もありますので、入学後はぜひ応援に来てください。



日本一のチームを目指し、日々鍛錬中！



ゴールを決め喜びを分かち合う立命館ホリーズ

応援団吹奏楽部



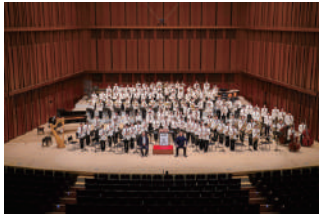
経営学科 勝 穂奈美さん 大阪府・大阪桐蔭高校
経営学科 神岡 沙恵花さん 福岡県・福岡工業大学付属城東高校
経営学科 岩倉 綾佳さん 京都府立嵯峨野高校出身
経営学科 安藤 日菜子さん 大阪府・大阪桐蔭高校

多様性を受け入れながらも心は一つに。
私たちらしいハーモニーを奏でます。

立命館大学応援団吹奏楽部は1952年に創部され、今年で73年目を迎えます。部理念に「活気・自発・思いやり」を掲げ、部員同士が互いに高め合いながら活動に励んでいます。演奏会の開催、吹奏楽コンクールへの出場、体育会各部の応援、学内外での依頼演奏、動画配信、昨年度にはシンフォニックジャズ&ポップスコンテスト全国大会に初出場し、準グランプリを受賞するなど、その活動の幅を広げてまいりました。また、2023年度の全日本吹奏楽コンクールでは、13年ぶりの出場に加え、初となる金賞を受賞いたしました。これからも関西のみならず、全国の皆さまから魅力を感じていただける団体になれるよう、日々精進していきます。



応援団としての応援活動



年に4回の演奏会などの活動(写真:去年の定期演奏会)

国際協力団体IROHA

カンボジアで継続的な教育支援を実施。
組織運営が学びにもつながっています。

私たちはカンボジアで教育支援をする団体で、先輩が2010年に設立した公立中学校「IROHAスクール」で継続的な支援を行っています。いくつかのグループに分かれて、現地での教育支援や日本での広報活動など、さまざまなプロジェクトを実施しており、春休みと夏休みの年2回、実際に学生が現地を訪問しています。また、私はIROHAの運営に携わるようになったことで、組織マネジメントやイノベーションなど経営学により深く関心を持って学べるようになりました。大学生生活を充実させたい人は、ぜひ私たちと一緒に活動を楽しみましょう！



カンボジアの生徒たちと一緒に授業を受けている様子。



経営学科 馬場 奎吾さん 岐阜県立大垣商業高等学校
経営学科 樋上 敢斗さん 大阪府立三島高校
経営学科 吉村 勇斗さん 広島大学付属高等学校

茶一くる

茶道を通じて学ぶ和の心。初心者も気軽に楽しめます。

私たちは大阪いばらきキャンパス独自の茶道サークルで、日々のお稽古を通じて礼儀や作法を学ぶほか、学園祭や地域交流イベント「いばらき×立命館DAY」などにおいてお茶会を開催しています。メンバーには茶道の経験者もありますが、ほとんどが初心者で、気軽に茶道や日本文化に親しめるところが魅力です。毎月、裏千家の先生から指導を受けているので、真剣に茶道のお点前を磨きたいという人ももちろん大歓迎です。抹茶や和菓子が好きな方、授業終わりに少しゆったりしたい方、地域交流に興味がある方など、新入生の皆さんの加入を心よりお待ちしております。



いばらき×立命館DAYでのイベントの様子(お抹茶点て体験を実施した際の様子です。)



経営学科 久保田 千智さん 京都府・立命館宇治高等学校出身
経営学科 小長谷 佳那さん 大阪府・履正社高等学校出身
経営学科 重富 真緒さん 熊本県立第二高等学校出身

充実したキャリアサポートで 希望の進路・就職を実現

立命館大学は17学部・22研究科を擁する総合大学でありながら、
学生一人ひとりの進路希望や活動状況を把握し、
学生の希望に応じたきめ細かな就職支援を行っています。
経営学部卒業生は、民間企業、公務員、公認会計士など多様な分野で、
また国内・海外で幅広く活躍しています。



立命館大学の充実した キャリアサポート

立命館大学では、学生の多様な進路の実現を支援するために、学内で行う企業説明会や学内選考会などを実施。夢を叶え、社会の幅広い分野で活躍している卒業生たちによる在学生へのアドバイスやサポートも行っています。

低回生から始まる 体系的キャリア教育

低回生から自己探求や自分らしい働き方などを考えるセミナーなど、学びと将来像を早期に結びつけるプログラムを多く用意、自分の興味や強みを見つけながら、将来のキャリアを主体的に描く力を育てます。

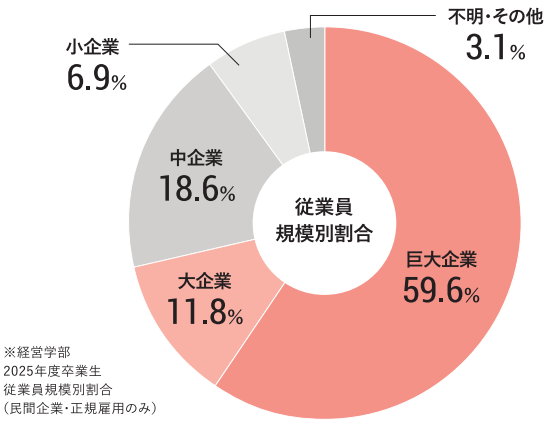
企業連携イベントで 社会とつながる

年間を通じて企業やOBOGとの交流イベント、インターンシップ参加支援、業界研究会などを多数開催。多様な企業と直接会い社会に触れながら、進路の選択肢を広げる機会が多数用意されています。

個別相談と資格支援で 確かな進路へ

キャリアセンターがES添削や面接対策まで丁寧に個別支援を行います。また、公務員・会計士など難関資格に向けた専門講座も充実し、一人ひとりの目標に寄り添いながら確かな進路実現を支援します。

大企業への就職状況



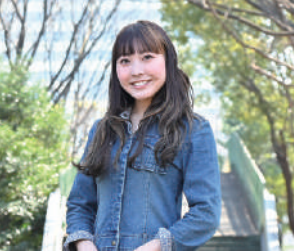
経営学部の就職者のうち、70%以上が「巨大企業」および「大企業」に就職しています。本学の経営学部の学生は、産業界から高い評価をいただいています。

従業員規模	巨大企業…1000人以上
	大企業……500～999人
	中企業……100～499人
	小企業……99人以下

卒業生INTERVIEW

株式会社博報堂 DXソリューションデザイン局

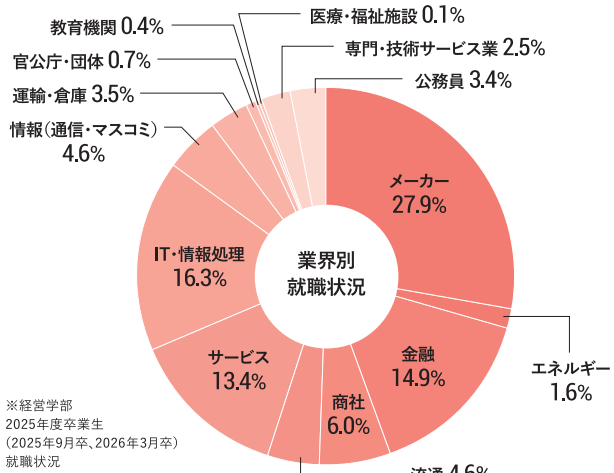
立命館大学
経営学部 経営学科
2022年3月卒業
西村 友里 さん



大学で培った積極果敢に挑む姿勢を大切に 新しい事業の創出に貢献したい。

現在は、次代の当社の軸となるような新しい事業の構想や戦略をつくる仕事に携わっています。既存の事業の枠にとらわれず、社会課題の解決につながるような事業の創出に携われるのが、やりがいです。立命館大学の魅力は、自ら学ぼうとすれば、多くの機会が揃っているところです。大学時代経営学部ではスペイン語を選択していました。さらに国際的な視点を得るために、高校時代のカナダ留学に留まらず、大学でも留学プログラムを積極的に活用しました。スペインでの異文化理解セミナー、また中国で現地のビジネスについて学ぶ経営学部独自の留学プログラムに参加したことも印象に残っています。自力でチャンスを掴み取る経験を積んだことが、今、自ら意思表示し、主体的に仕事に取り組むことにつながっています。これからも積極的な姿勢を大切に、一生活者である私らしい視点やアイデアを提供し、自社や社会に貢献できるよう頑張りたいと思っています。

業界別就職状況



経営学部で学んだ学生は、経営・組織管理、人事・労務管理、営業販売、商品開発、市場調査、広告・広報、生産管理・技術営業、経理・財務管理、国際部門、会計士・税理士などさまざまな職種で活躍しています。

卒業生INTERVIEW

株式会社シグマックス インダストリーシェルパ

立命館大学
経営学部 国際経営学科
2021年3月卒業
羽田 茜 さん



学生時代に身につけた行動力や分析力を発揮し 誰もがわくわくできる社会づくりに貢献したい。

多様な企業や組織と仕事ができるコンサルタントに興味を持ち、当社を選びました。現在は製造業のクライアントの事業転換プロジェクトに携わり、新しいビジネスを推進する上で高めるべき専門能力の定義や評価制度の設計を担当しています。立命館大学は国際経営学科や留学制度、英語での授業などグローバルな環境に魅力を感じて志望しました。ゼミナールでは経営学や経営の奥深さを知り、フランスのビジネススクールへの留学を通じて、世界に視野を広げることができました。講義や卒業論文の作成を経て培った、国内外問わず数ある情報から示唆を導く力は、現在の仕事に直結しています。「社会をよりよく/楽に/わくわくさせる仕組み作り」への興味から、クライアントとともに目の前のプロジェクトに邁進すると同時に、生涯をかけられるようなテーマを見つけるべく、現在も対話や自己探求を続けています。

公認会計士合格実績

2025年度
公認会計士試験
合格者
(校友含む)

55名



立命館大学では、毎年安定的に合格者を輩出しており、とりわけ在学生の健闘が目立っています。学内の支援としては、キャリア形成の一助となる現役の公認会計士の講演会や監査法人訪問会を実施し、学習支援では、公認会計士の学習スタートとなる講座を学内で開講しています。自習室や各種奨学金制度も準備しており、しっかりと試験対策に取り組める環境を準備しています。

卒業生INTERVIEW

有限責任 あずさ監査法人 大阪事務所 第2事業部

立命館大学
経営学部 国際経営学科
2015年3月卒業
山本 悠貴 さん



経済活動を支える市場の番人として 今後はグローバルなステージへ。

1回生の時の授業で簿記と出会い、その面白さに目覚めました。勉強を進めていくうちに関心は会社の財務状況へと広がり、市場の番人である公認会計士の仕事に惹かれました。現在は監査法人に勤務し、クライアント各社の財務・会計内容のチェックや、会計処理などの相談事項の検討を行っています。経験豊かな目上の方を相手に報告や発表を行う機会も少なくありませんが、應ずることなく向き合うことができるのは、東京で開催された論文大会へ出場するなど、学生時代の経験があるから。ゼミナールの仲間と重ねたプレゼンテーションやディベートの練習が今に活かしています。身につけた学びの姿勢は変えることなく、将来はグローバルな企業の担当もできるよう、語学の勉強を続けています。

2025年度卒業生就職先(抜粋)

- | | |
|--------------------|---------------------|
| ● アクセンチュア(株) | ● トヨタ自動車(株) |
| ● 有限責任あずさ監査法人 | ● 豊田通商(株) |
| ● アマゾンジャパン合同会社 | ● (株)ニコン |
| ● EY新日本有限責任監査法人 | ● 西日本旅客鉄道(株) |
| ● (株)NTTデータグループ | ● (株)日本政策金融公庫 |
| ● (株)NTTドコモ | ● (株)日本M&Aセンター |
| ● (株)オリエンタルランド | ● 日本航空(株) |
| ● (株)キーエンス | ● パナソニック(株) |
| ● キヤノン(株) | ● (株)日立製作所 |
| ● 京セラ(株) | ● (株)ファーストリテイリング |
| ● (株)京都銀行 | ● (株)堀場製作所 |
| ● KDDI(株) | ● (株)マイナビ |
| ● サントリーホールディングス(株) | ● (株)みずほフィナンシャルグループ |
| ● (株)島津製作所 | ● (株)三井住友銀行 |
| ● ANA(全日本空輸(株)) | ● 三菱重工業(株) |
| ● (株)帝国ホテル | ● (株)村田製作所 |
| ● 合同会社デロイトトーマツ | ● LIINEヤフー (株) |
| ● (株)電通 | ● (株)リクルートホールディングス |
| ● 東京海上日動火災保険(株) | ● (株)良品計画 |
| ● 有限責任監査法人トーマツ | ● 国税専門官 |
- 〈50音順〉

卒業生INTERVIEW

サントリーフーズ株式会社 広域営業本部 戦略量販グループ

立命館大学
経営学部 経営学科 2022年3月卒業
浅浦 堪太 さん



グローバルな視点を磨き 世界屈指のプロダクト戦略を担いたい。

清涼飲料の販売を担う部門に勤務し、現在は全国規模の広域ドラッグストアを担当しています。取引先の飲料売上を最大化するべく、既存商品や新商品の販売拡大に加え、アプリ連動型のデジタル施策や地域限定商品の展開にも取り組んでいます。人々の生活に欠かせない飲料を扱い、より良い商品体験を提供できることがやがいの一つです。在学中は、広告論のゼミナールに所属し、CMやメディアについて学びました。この経験は現在のデジタル施策や商品展開のプランニングで役立っています。また、自由な校風の中で多様な価値観に触れたことが、柔軟な発想やコミュニケーション力の基盤となりました。将来は海外で経験を積み、世界で評価される商品戦略に挑戦したいと考えています。大学生活での学びはかけがえのない財産です。自分だけの目標を見つけて挑戦してください。